

令和2年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和2年4月20日(月曜日)

○日時 令和2年4月20日 午後2時12分開会

○場所 議場

○議件

1. 議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正
予算中、所管分

○出席委員(7名)

委員長	永本浩子
副委員長	近藤憲治
委員	金兵智則
	工藤英治
	平賀貴幸
	古田純也
	村椿敏章

○欠席委員(0名)

○委員外議員(1名)

議長	井戸達也
----	------

○傍聴議員(6名)

石垣直樹
小田部照
川原田英世
栗田政男
澤谷淳子
松浦敏司

○説明者

副市長	川田昌弘
健康福祉部長	桶屋盛樹
健康福祉部参事	細川英司
健康推進課長	永森浩子

.....

教育長	三島正昭
学校教育部長	林幸一
学校教育部次長	小路谷勝巳
学校教育課長	小松広典

○事務局職員

事務局長	武田浩一
------	------

次 長 伊倉直樹

総務議事係長 神谷浩一

総務議事係主査 寺尾昌樹

午後2時12分開会

○永本浩子委員長 ただいまから文教民生委員会を
開会いたします。

本日の委員会ですが、付託されました議案1件を
審査いたします。

それでは、議案第1号令和2年度一般会計補正予
算中、当委員会所管分のうち、新型コロナウイルス
感染症予防資材整備事業について説明を求めます。

○永森浩子健康推進課長 議案資料6ページ、資料
1号を御覧願います。

令和2年度一般会計健康管理費補正予算、新型コ
ロナウイルス感染症予防資材整備事業につきまして
御説明いたします。

1の補正の理由及び内容であります、新型コロ
ナウイルス感染症は現在全国に感染が拡大し、国が
緊急事態宣言を発令するなど終息を見通すことが困
難な状況にあります。

今後、子供、高齢者、障がい者健康推進等の業務
継続に当たりまして、市内における感染予防及び感
染拡大防止に必要となる資材等を購入するため、追
加補正するものであります。

金額につきましては、2,600万円となり、内容につ
きましては、マスク、アルコール消毒液、防護服、
その他資材の購入費用となります。

2の補正額であります、(1)の歳出予算に記載
のとおり補正額は、2,600万円となり、財源内訳は全
て基金繰入金となります。

歳入予算における科目ごとの補正前の額、補正
額、補正後の額につきましては、(2)の歳入予算
の記載のとおりとなります。

以上で説明を終わります。

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○古田純也委員 確認だったのですけれども、資
材、マスク、アルコール消毒液、防護服の購入先と
いうのはどのように選定されているのでしょうか。

○永森浩子健康推進課長 現在、資材確保につつま

してはどこも厳しい状況で、幾つかの業者に在庫状況の確認をしているところです。

少しずつでも確保できるように、現在努めているところであります。

○古田純也委員 当然、市内業者だと思いますけれども、その辺はどうなのでしょう。

○永森浩子健康推進課長 市内業者も含めて、現在検討しているところでございます。

○永本浩子委員長 よろしいですか。

ほかに。

○平賀貴幸委員 若干確認をさせていただきたいと思います。

入手がなかなか難しいと、今答弁もあったところですが、マスクだとかアルコールを配布する場所を一応確認しておきたいのですが、市の窓口対応で使ったり、児童館、保育所、幼稚園、それから障がい福祉施設や、高齢者施設関係、そういうところに配布するというということで、あとほかに何か対象があったりするのでしょうか。

○永森浩子健康推進課長 委員のおっしゃったとおり、学校、保育所などの職員ですとか、介護及び障がい関連サービス事業所、市の健康推進事業や窓口の業務に携わる職員を現在のところ考えております。

○平賀貴幸委員 たしかマスクは月3万枚ということで考えていって、それを20万枚ぐらいということですから、半年分ぐらいということなのですが、月3万枚で果たしてマスクが本当に足りるのかなと心配だというふうに思っております。

今現在、価格が高くなっていて、50円とか60円ぐらいするというので、現場でなかなか買うことももちろん入手も困難だけれども、その買うこと自体が経営に対してかなりのダメージがあるという話もある中で、果たして3万枚で足りるのかなと思うのですが、その辺の試算としてはどのような形でされたのでしょうか。

○永森浩子健康推進課長 委員のおっしゃるとおり、現在単価が流動的であるということも考慮して積算をしております。

現在7月末までの必要な数量と、あと追加発注分ということで、備蓄も含めて見込んでいるところがあります。

できるだけ確保できるように努めるしか、今のところないと考えております。

○平賀貴幸委員 もともとマスクは、大体1枚6円

だったものが50円、60円ですから、そのインパクトはなかなか大変だということだと思います。

それで介護の業界ですとか、そこで働く方々からはですね、国全体だと今年の2月の調査で860万人の介護や医療の労働者がいるという調査があるのですけれども、その調査にきちんと基づいて、1日何枚必要だからという形で、マスクの確保をしてほしいということを要請されているのですよね。

網走市でもそこら辺を確認した上で、もしこの月に3万枚では足りないなということになるのであれば、後からこの予算は予算として執行しつつも、別の形で予算を増額してでも、マスクとか衛生用品の確保をさらに拡充するという考え方も、私は持たなければいけないんじゃないのかなと思うのですが、現場にそういった実態を調査して必要な数を出してもらうということをやったほうがいいんじゃないかと思っておりますけれども、どうでしょうか。

○永森浩子健康推進課長 ここ1カ月ぐらいで、国からの布マスクの配布ですとか、各学校ですとか、介護施設ですとか、あと今月から妊婦さんにも配布されるように、あと全世帯に2枚ずつというあたりも国からおりてきております。

そのあたりも随分ここ1カ月間で変化がありますので、以前積算しているものが、今回また新たに積算し直さないといけないというふうに認識しておりますので、配布できる段階になりましたら、もう一度積算を組んで考えていきたいと思っております。

○平賀貴幸委員 ぜひそうしてください。

実際の現場の状況に合わせて、必要な枚数を確保していく、必要な衛生用品を確保していくというのが何よりも今大切な状況で、残念ながら長期戦に多分なるのだと思いますので、そこをしっかりと支えるための予算の仕組みを市でも整えていくということで、今回の予算はこれとして、そのあとですね、必要によってはぜひ増額のための補正予算を組んでいただきたいということを申し上げたいと思っております。

以上です。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

○村椿敏章委員 今朝の新聞に折り込みチラシが入っていた関係なのですが、これは対策本部のほうで考えて出したと思うのですが、今の市の行動計画の中では、先日の8日の全員協議会の時に、国内の発生が早期なのかどうかという段階のことをお聞きしたと思うのですが、緊急事態宣言が出さ

れた中で対策本部のほうとしては、今現在の段階にあると考えているのでしょうか。

○永森浩子健康推進課長 現在、国内感染期の状況だというふうに認識しております。

○村椿敏章委員 はい、わかりました。

国内感染期ということなのですが、3つの密を避けましょうというところで感染を防ごうとしているわけなのですが、今回マスクと一緒にプレミアム商品券という経済対策のほうも考えているのですが、そこについて対策本部としてはどのような対策を考えているのでしょうか。

○永本浩子委員長 暫時休憩いたします。

午後2時22分休憩

午後2時24分再開

○永本浩子委員長 それでは再開いたします。

村椿委員の質疑から。

○村椿敏章委員 今回のマスクの用途についてなのですが、先ほども聞いた老人福祉施設とか、市に関する施設のほうで利用するということなのですが、病院のほうもマスクが足りないという現状があると思うのですが、もしもこの後に感染が確認されて、それで病院のほうでマスクが足りない、それから防護服が足りないと言ったときには、この市が確保した資材について提供するという考えなどはないのでしょうか。

○永森浩子健康推進課長 現在のところ、医療機関へのマスク等については、国から供給、提供をしております。一部医師会を通して医療機関には配布されたりしている状況です。

現在のところ不足しているという声は、原課には届いておりません。

ただ、今後感染者が出た場合、状況を把握しながら、またそこは市として考えていきたいと思えます。

○村椿敏章委員 わかりました。

もう一つ、これは確認なのですが、今現在、感染者は確認されていませんということを網走市のホームページで発信しているのですが…

○永本浩子委員長 暫時休憩いたします。

午後2時26分休憩

午後2時26分再開

○永本浩子委員長 再開いたします。

それでは村椿委員の質疑から。

○村椿敏章委員 以上で質疑を終わります。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

○平賀貴幸委員 聞き漏れたのですが、こういった形で衛生用品の確保をして、こういった場所に供給しますということは、どのように広報されていくのでしょうか。

今朝のものには、もちろんそれは書かれていないので、今後広報の仕方とかは考えていらっしゃるのでしょうか。

○永森浩子健康推進課長 現在のところ広報に関してはまだ考えておりませんが、市民全体への配布はありませんので、関係施設と関係機関等と連絡をとりながら、随時進めていくというふうに考えております。

○平賀貴幸委員 細かい広報は要らないと思うのですが、そういったところにはちゃんとそういうものを市が供給していますというということを市民に伝えていくことは、税の使い方を知らせることですから、やはりしなければいけないことですね。

ですから、何らかの形でこういう形でやっています、詳細までどこどこまでは要りませんが、そこはやってほしいというふうに思います。

あわせて、いろいろやはり今朝のような紙の情報だとかが来ない限り、情報がわからない方がいらっしゃると思うのですよね。

その辺もぜひ、そのことと含めてぜひ困っている人に、インターネット以外でも情報を届けられるような形で考えていただきたいのですが、その辺について何か考えておりますか。

○永森浩子健康推進課長 現在、今日も新聞の折り込みで入りましたが、チラシやほかにも連載で今後果たしていく予定でありますし、様々なホームページ等以外でも周知していけるように考えていきたいと思えます。

○永本浩子委員長 それではほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それではお諮りいたします。

議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中所管分のうち、新型コロナウイルス感染症予防資材整備事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それではそのように決定されました。

○永本浩子委員長 次に移ります。

議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中
所管分のうち、学校給食費返還等事業について説明
を求めます。

○小松広典学校教育課長 議案資料の7ページを御
覧願います。

令和2年度網走市一般会計学校給食費補正予算の
うち、学校給食費返還等事業の概要について説明い
たします。

今回の補正につきましては、学校給食の休止に伴
い、発生した給食費に関し、文科省の学校臨時休業
対策費補助金を活用して、保護者等の負担軽減等を
図るもので、事業費250万円を追加補正しようとす
るものでございます。

事業の内容について御説明いたします。

臨時休業に伴う学校給食の中止により、保護者が
負担することとなった給食費などが対象となりま
す。

対象となる具体的な経費につきましては、一つめ
として、事業者から購入した食材のキャンセルが間
に合わず、保護者負担となった給食費及びその処分
に要した経費、二つめには、その給食費の返還金に
要する振り込み手数料等の経費、三つめには、パン
の製造委託事業者に対してとなりますが、既に発注
されていた食材にかかる加工賃が対象とされていま
す。

事業費につきましては、負担金補助及び交付金と
して250万円。財源につきましては、国費の補助率
が4分の3となりますが、公益財団法人北海道学校
給食会を通じて交付される補助金となることから、
記載のとおり諸収入の学校臨時休業対策補助金とし
て187万5,000円。基金繰入金62万5,000円となるもの
でございます。

説明は以上でございます。

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それではお諮りいたします。

議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算
中、所管分のうち、学校給食費返還等事業について
は、全会一致により原案可決すべきものとして決定
してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それではそのように決定されました。

各委員、理事者より何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で文教民生委員会を終了
いたします。

お疲れさまでございました。

午後2時32分閉会